

九大病院別府病院の

臨床と研究から

⑦



外科・准教授 主藤朝也

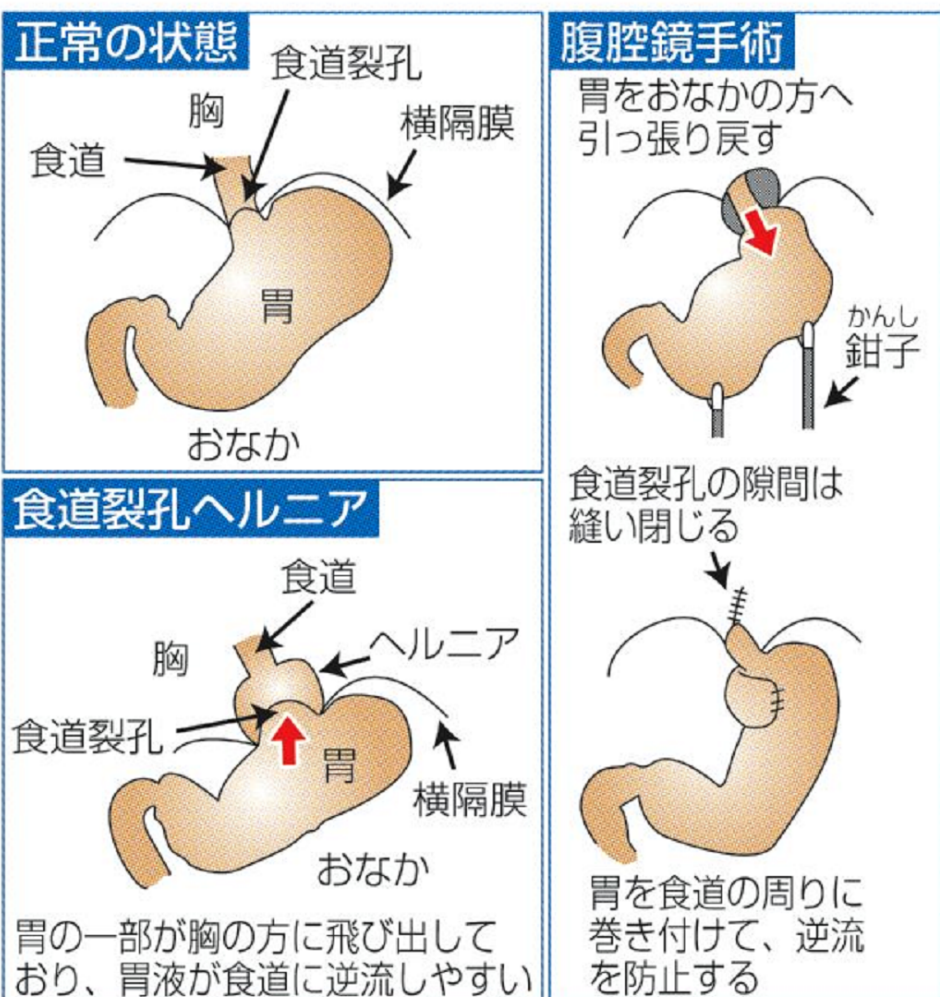
高齢の方に意外と多く見た。

られる良性の疾患に逆流性 逆流性食道炎は胃液が食 苦いものが朝方上がる、喉 食道炎があります。最近テ 道に逆流し、食道に「ただ の違和感などです。ひどく レビのCMでも病名がよくれ”を起すものです。症 になると、出血、潰瘍を引き 知られるようになりまし 状はみぞおちの痛み、胸焼 起こし、食道が狭くなって

け、げっぷ、おなかの張り、

逆流性食道炎（食道裂孔ヘルニア）と腹腔鏡手術

傷が小さく早期に回復



があります。日本でも、逆流性食道炎は胃酸を抑える薬で改善されますが、術後の痛みが減り、術後の回復が早くなりました。この方法で傷が小さく、手術後の痛みが減り、術後の回復が早くなりました。

逆流性食道炎は、脂っこい食べ物をよく取る方、スリッパの多い方、肥満、腰の曲がった方などに多く、原因の一つに、食道裂孔ヘルニアという状態があります。通常、食道は胸の中を通り、食道裂孔という横隔膜の隙間をとおなかの胃につながります。食道裂孔ヘルニアは、図のように胃の上の部分が横隔膜の隙間から、胸の方へ飛び出す状態です。逆流性食道炎が

以前は高齢を理由に手術などを行わなかった方々に対しても最近手術する機会が多くなりました。理由は体にかかる負担を比較的に少なくできる腹腔鏡手術が広まってきたからです。

このように、体への負担が少ない腹腔鏡手術の技術開発や研究は、食道裂孔ヘルニアによる難治性逆流性食道炎など良性疾患とはい

え、長期間悩み苦しんでいた高齢者にとって福音とな

食事が思うようにできなくなり、食道を契機としているとの指摘

〓 終わり 〓